

令和7年度 名古屋市はち丸在宅支援センター 事業計画
 (名古屋市在宅医療・介護連携推進事業/在宅医療体制の整備事業)

事業名称	A 在宅療養に関する相談支援
ねらい	市民が適切な在宅医療・介護のケアを受けることができ、医療・介護の多職種連携が円滑に進むよう、市民、医療・介護の多職種、関係機関からの在宅療養に関する相談に対応する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの相談に対しては、在宅療養に関する情報提供を行うとともに、必要に応じて、医療機関や多職種と調整をする。 医療・介護サービスを提供する多職種からの相談に対しては、在宅療養に関する情報提供を行うとともに、必要に応じて、その連携が円滑に進むよう調整をする。

事業名称	B 在宅医療・介護資源の把握
ねらい	地域の医療・介護資源を把握し、情報を集約・公開することによって、医療・介護の多職種の円滑な連携を促進するとともに、市民への相談支援に活用する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関・訪問看護ステーションを対象とした医療資源調査（令和元年度以降）及び病院窓口調査（令和6年度）を継続し、情報の更新・拡充を行う。調査結果のうち、医療機関・訪問看護ステーションから同意を得られた情報については、ホームページで公開する。 在宅医療の実際等について、医療機関を訪問し把握する。実施にあたっては、センターの役割と機能を周知し、在宅医療に関わる医療機関との関係構築を図る。

事業名称	C 医療・介護関係者の情報共有の支援
ねらい	医療・介護の多職種が ICT ツール「はち丸ネットワーク」を活用した情報共有を行うことにより、在宅療養者の状態変化や療養に対する意向の変化等の情報を、多職種間で速やかに共有できるよう支援する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護の多職種に向けて、はち丸ネットワークの導入及び活用を促進するための説明・体験会等を実施する。 はち丸ネットワークの活用状況を把握すると共に、利便性を高めるための改修を行う。 はち丸ネットワークを活用した災害時の情報共有に関する検討を行う。

事業名称	D 在宅医療・介護連携に関する協議体の設置・運営
ねらい	地域における在宅医療・介護連携に係る課題を抽出し、課題解決に向けた取り組みを検討・実施することで、地域に根差した在宅医療・介護連携を推進する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋市在宅医療・介護連携推進会議 学識経験者や医療・介護関係者、行政等を構成メンバーとする会議を運営し、在宅医療と介護の連携を推進するための協議を実施する。 ・ 各区在宅医療・介護連携推進会議 医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者、いきいき支援センター、行政等の関係者を構成員とする会議において、在宅医療と介護の連携を推進するための協議を実施する。地域の実情に応じ、会議の下部組織として、職種別の委員会やワーキンググループ等を設置する。会議及び下部組織においては、連携上の課題や課題を解決するための対応策について検討し、対応策を実施する。連携上の課題及び対応策については、「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック～名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン～」に記載の連携ポイントを踏まえる。ガイドライン改定にむけ、協議体の運営等を通じ、「連携ポイント」や「連携場面」について意見集約をする。

事業名称	E 医療・介護の多職種向け研修
ねらい	医療・介護関係者向けに意思決定支援の理解を深めるための研修会や、多職種連携の推進に繋がる研修会を開催し、医療・介護関係者の支援実践力の向上と連携強化を図る。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACP 研修会 <ul style="list-style-type: none"> ① 人生の最終段階における意思決定支援に関する基礎的な知識の習得及び多職種による意思決定支援のプロセスについての理解を深める研修会を開催する。 ② 医療・介護の多職種が人生の最終段階における意思決定支援について、多職種で連携し実践する力を向上するための研修会を開催する。 ・ 多職種連携の推進に繋がる研修会 在宅療養者の支援において発生する課題に、医療・介護の多職種で連携して取り組むことを共に学ぶための研修会を開催する。

事業名称	F 在宅医療に関わる医師向けの支援
ねらい	在宅医療に関わる医師を支援するとともに、かかりつけ医による在宅医療への参入を促進し、在宅医療の提供体制を整える。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療研修会 在宅医療を実施している医師、今後実施を検討している医師を対象に研修会を実施する。 ・ 在宅医療スタートアップ支援 医師が在宅医療の実施にあたって、どのようなことを障壁と感じているかニーズを把握し、必要な支援について検討する。 ・ 在宅医療バックアップシステム 在宅療養者が急変した場合の適切な対応と主治医による看取りのサポートを通じて、市民の安心・安全な在宅療養の継続を可能とするための体制を構築する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 後方支援病院による急変時サポート ② 在宅医療サポート医による看取りサポート

事業名称	G 在宅療養に関する普及啓発の実施
ねらい	市民が在宅での療養が必要になったときに、自らが希望する医療・介護のケアや生活について、家族や医療・介護の多職種とともに考えることができるよう、在宅療養に関する知識を普及啓発する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民を対象に、在宅療養・ACP に関する普及啓発を実施する。実施にあたっては、「名古屋市在宅医療・介護のしおり」、普及啓発動画「いつまでも自分らしく生きるために」等を使用する。また併せて各種相談窓口を周知する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 出張講座 ② 地域イベント等での普及啓発